

総会

配布：一般

2012年7月12日

第66会期

議事日程議題14

総会決議

[主要委員会への付託なしに (A/66/L.51 and Add.1)]

66/284 世界結晶年

総会は、

国際年と記念祭に関する1980年7月25日の経済社会理事会決議1980/67および国際年の宣言に関する1998年12月15日の53/199と2006年12月20日の61/185の総会諸決議を想起し、

私たちの世界の物質的性質の人類の理解は、とりわけ、私たちの結晶学の知識に基礎を置いていることを認識し、

結晶学についての教育と結晶学の利用は、薬品および公衆衛生にとって必要不可欠な薬品計画にとって適合するタンパク質や小さな微粒子構造並びに植物や土壌の汚染の解決を提供することにより、疫病および環境問題のような課題に対処することにおいて重要であることを強調し、

結晶学の影響は、私たちの日常生活において、近代的な薬品開発、ナノテクノロジーやバイオテクノロジーにおいて、いたるところで示されており、また練り歯磨きから航空機の構成要素まで、あらゆる新しい物質の開発を支えていることを考慮し、

この分野で授与された23のノーベル賞により例証されたように、結晶学のめざましい科学的業績および結晶学はまだ新しく且つ期待されている基礎研究のための肥沃な土壌であることもまた考慮し、

2014年が、近代的な結晶学の100年の始まりと物質の構造決定にとって最も強力な道具としてのその確認を特徴づけていることを更に考慮し、

2014年が、国際結晶学連合の創立第65回記念の一部として国際的共同研究を促進する機会を提供していることを認識し、

2014年を世界結晶年として選定するという考えについて世界中の結晶学界による広範な受け入れに留意し、

世界中の国際的、地域的および国内的レベルでの結晶学活動を調整することと促進することにおける、国際科学会議の附属機関である、国際結晶学連合の主導的役割を認識し、

1. 2014年世界結晶年を宣言することを決定する。

2. 国際連合教育科学文化機関に対し、経済社会理事会決議 1980/67 の添付書類の規定に注意して、政府、国際結晶学連合および世界中のその関連機関、国際連合システムの関連機関、国際科学会議、並びに他の関連する非政府組織と共同して、世界結晶年の実施を促進することを招請し、国際連合教育科学文化機関に対し、これに関連して行われた進展を総会に通知し続けることもまた招請し、そして民間部門からのものを含む、上記本決議の実施からおよび主導的機関の職務権限内の現行の活動を越えて生じるであろうあらゆる活動の経費は、自発的拠出金から賄われるべきことを強調する。

3. 全加盟国、国際連合システムおよび全ての他の関係者に対し、結晶学の重要性について世間の中に認識を増すことおよび新しい知識と結晶学活動に対する広範なアクセスを促進することを目的としたあらゆるレベルでの活動を促進するため、世界結晶年を利用することを奨励する。

第 121 回本会合
2012 年 7 月 3 日